

別表 審査基準

審査項目	配点	着 眼 点	点数	計数	得点
1. 提供体制	10	学校教育に携わるにふさわしい企業理念のもと、健全な経営を行っているか。	5	2	10
2. 業務実績	20	本業務を確実にかつ円滑に遂行するための人員配置、体制となっているか。 ・講師等の配置人数 ・講師等の経験 等	5	2	10
		本業務の内容と同種又は類似の講座等を行った実績はあるか。	5	2	10
3. 提案内容の 妥当性及び実現 性	60	【授業実施・サポート体制】 各講座で現地2回・遠隔1回以上のサポートを確実に遂行できる体制があるか。また生徒の習熟度に応じた個別指導や教員へのバックアップなど、サポート内容が充実しているか。	5	2	10
		【教員の自走化支援】 次年度以降、教員が主体となって授業運営・進捗管理・生徒評価を行うための具体的な計画や研修・マニュアル提供等のアプローチが優れているか。	5	2	10
		【生成AIの活用とリテラシー教育】 生成AIを活用したテーマ設定やデザインの洗練を、効果的に行うための具体的な工夫があるか。また、生成AIの仕組みや著作権などの留意点に関する指導内容が適切か。	5	2	10
		【教材の機能性と操作性】 HTML/CSSの自学自習、進捗管理、端末での動作がスムーズに行える仕様になっているか。	5	2	10
		【コンテスト応募支援】 全国規模のコンテストに向け、応募手続きの代行や技術的指導・サポートをどう行うかが具体化されているか。	5	2	10
		【育成プログラムの情報提供及び参加の支援】 育成プログラムに関する情報提供及び参加機会の提供計画が、生徒の自発的な学習意欲を継続させるものになっているか。	5	2	10
4. 経費の妥当性	10	経費を最小限に抑えた見積り金額となっているか。	5	2	10
合計					100